

軽度発達障害者のための  
就労支援プログラムに関する研究  
ーワーク・チャレンジ・  
プログラム(試案)の開発ー

2008年3月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構  
障害者職業総合センター

# 軽度発達障害者のための 就労支援プログラムに関する研究

- ワーク・チャレンジ・プログラム（試案）の開発 -

2008年3月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

障害者職業総合センター

## まえがき

障害者職業総合センターでは、平成3年の設立以来、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、わが国における職業リハビリテーション・サービス機関の中核として、職業リハビリテーションに関する調査研究をはじめとして、さまざまな業務に取り組んでいます。

この報告書は当センターの研究部門が実施した「軽度発達障害者の作業遂行を支援するプログラムの開発に関する研究」の結果を取りまとめたものです。ここでは、まず、ワーク・チャレンジ・プログラム（試案）を構成するにあたり、職場のルール（基礎編）に関する検討を行い、規則やワークシートを作成しました。そのうえで、ワーク・チャレンジ・プログラムを実施した結果をまとめました。

ワーク・チャレンジ・プログラム（試案）は、軽度発達障害者の職業上の課題への対応を目的として、特に職場の基本的なルールに関する知識・理解の獲得並びに行動化（場面に応じて、知識を行動として適切に表現すること）における課題の把握を中心として作成されました。このプログラムは、職場の基本的なルールに関して明示的に示すだけでなく、誤った理解をしている対象者の背景にある考え方などについて検討するためのワークシート、学習された知識の行動化を確認するための作業遂行等によって構成されています。発達障害のある方々の就労支援の場面で別冊の教材集とともにご活用ください。

この研究を進めるに際しては、調査にご協力くださったみなさまをはじめ、いろいろな方から多大なご協力を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。

この報告書がたくさんの方々に活用され、わが国における職業リハビリテーションをさらに前進させるための一助になれば幸いです。

2008年3月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

障害者職業総合センター

研究主幹 苅部 隆

執筆担当：（執筆順）

向後 礼子	障害者職業総合センター 研究員	概要、序、第 部第 1 章第 1 節・第 2 節 2-3 第 2 章、第 部第 1 章・第 2 章、第 3 章第 2 節 終章
望月 葉子	障害者職業総合センター 主任研究員	第 部第 1 章第 2 節 1、 第 部第 3 章第 1 節・第 3 節、第 4 章

謝 辞

プログラムの実施に際してご協力いただいた学校の関係者並びに生徒の皆様に、心から御礼を申し上げます。

また、事業所ヒアリング並びにアンケート調査につきまして、ご協力をいただきました横河電機株式会社人財部 箕輪優子様・平田 裕美子様、レインボーワーク 木野村なぎさ様、株式会社ジャストヒューマンネットワーク障がい者就業支援プロジェクト 國崎順子様、株式会社リクルートスタッフィング障がい者雇用促進室 新行内美穂様に、教員アンケート調査につきまして、ご協力いただきました教員の皆様に、心から御礼を申し上げます。

# 目 次

序	研究のねらい	
第 部	ワーク・チャレンジ・プログラムの構成	
第 1 章	プログラムの構成	7
第 1 節	プログラムの全体構成	7
第 2 節	プログラムの構成要素	8
第 2 章	職場のルールに関する評価課題の作成 - ルール選択の過程 -	14
第 1 節	職場のルール（基礎編）の選択過程	14
第 2 節	職場のルール（基礎編）に関する評価課題とワークシート	18
第 3 節	規則の回答（選択肢）に関する意見 .....事業所並びに教員の意見.....	43
第 部	ワーク・チャレンジ・プログラムの実際	
第 1 章	対象者の特性	53
第 1 節	対象者の言語理解に関する特性について	54
第 2 節	対象者の視知覚の認知と手腕・指先の器用さについて - 作業遂行力に関する検討 -	55
第 3 節	コミュニケーションに関する特性について - 行動観察と F & T 感情識別検査 -	58
第 4 節	プログラム参加者の就職に関する意識	60
第 5 節	プログラム対象者の特性とプログラム実施上の配慮事項	62
第 2 章	職場のルール（基礎編）	64
第 1 節	ワーク・チャレンジ・プログラムの実施	64
第 2 節	初期評価に含まれない規則：ワークシート	67
第 3 節	職場のルールに関する評価とワークシート	68
第 4 節	学習の効果と事例のまとめ	92
第 3 章	作業遂行	97
第 1 節	前期プログラム（DM 事業部）の業務	97
第 2 節	後期プログラム（OA 事業部）の業務	110
第 3 節	総合評価について	131

第4章 個別事例の検討	136
第1節 「質問」をめぐり行動上の問題を検討した事例	136
第2節 「作業遂行」をめぐり行動上の問題を検討した事例	153
第3節 まとめ ……集団が及ぼす影響と指導の限界……	165
終章 まとめと今後の課題	168
資料	